

北海道ブロックにおける観光に関する検討の経緯

2015年度	<p><b>○訪日外国人旅行者数2000万人の受入に向けた北海道ブロック連絡会</b>                  【目的】訪日外国人旅行者2,000万人時代を見据えた北海道の受入環境整備に関する課題解決</p>	
2016年度	<p><b>○訪日外国人旅行者の受入に向けた北海道ブロック連絡会</b>                  【目的】「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月）の策定に伴い、<b>新たな目標（2020年→4,000万人、2030年→6,000万人）</b>に向けた北海道の受入環境整備に関する課題解決</p>	
2017年度～	<p><b>○観光ビジョン推進北海道ブロック戦略会議</b>                  【目的】「観光ビジョン」の推進、北海道の受入環境整備に関する課題解決</p>	<p><b>○北海道インバウンド観光連絡調整会議</b>                  【目的】北海道ブロック全体としての<b>方針策定</b>、各DMOが策定する<b>事業計画</b>について、総合連携の観点から調整</p>

2018年度における意見交換の主な議題

北海道内の観光関係者が目指すべき訪日外国人旅行者に関する**数値目標の設定**

⇒考え方：**みんなで稼げる**北海道観光の実現

= 「北海道全体で観光客数を増やす」 × 「観光業全体で消費単価を上げる」

(参考)

○政府の目標

訪日外国人旅行者数 2020年 4,000万人  
 訪日外国人旅行消費額 2020年 8兆円

○北海道の目標

外国人観光入込客数 2020年度 500万人  
 外国人観光消費額 2020年度 1兆円

指標 1-1	<p><b>新千歳空港の利用者を増やす</b></p> <p>●数値目標：                  「出入国管理統計」における新千歳空港の外国人出入国者数                  2018年：337万人⇒2020年：430万人⇒2023年：空港民営化を踏まえ設定</p>	指標3	<p><b>繁忙期と閑散期の観光客数の差を縮める</b></p> <p>●数値目標：                  「宿泊旅行統計調査」における、宿泊延数の最小月と最多月の差                  2017年度：2.7倍 ⇒2020年度：2.4倍 ⇒2023年度：2.0倍</p>
指標 1-2	<p><b>新千歳空港以外の道内空港利用者を増やす</b></p> <p>●数値目標：                  新千歳空港以外の国内線訪日外国人搭乗者数(JAL,ANA,ADO3社計)                  2017年度：136,868人 ⇒2020年度：197,000人 ⇒2023年度：空港民営化を踏まえ設定</p>	指標4	<p><b>観光・レジャーへの消費を高める</b></p> <p>●数値目標：                  観光庁「訪日外国人消費動向調査」における、娯楽等サービス費の購入者単価                  2018年：データ収集中 ⇒2020年：今後設定 ⇒2023年：今後設定</p>
指標2	<p><b>二次交通の利用を促進して広域拡散化を図る</b></p> <p>●数値目標：                  観光庁「訪日外国人消費動向調査」における交通費の購入者単価                  2018年：データ収集中 ⇒2020年：今後設定 ⇒2023年：今後設定</p>	指標5	<p><b>欧米豪からの観光客数を増やす</b></p> <p>●数値目標：                  「観光入込客数調査報告書」における、欧米豪からの外国人宿泊延数                  2017年度：50.4万人泊 ⇒2020年度：69万人泊 ⇒2023年度：94万人泊</p>